

社会福祉法人 どんぐりの家 2019 年度 運営方針

前年度は収入の減、支出の増で、大きな赤字決算という、経営者として申し訳ない結果を出してしまいました。

今年度は、赤字決算となった原因を踏まえて、同じ失敗を繰り返さないように運営していきます。

また、法人全体で協力し合い、各事業所で無駄なところを改善し、一致団結して運営していきます。

社会福祉法人 どんぐりの家 2019 年度 事業計画

(1) 通所介護事業所

同法人内の、「おこしやす」をご利用して頂いていた方をはじめ、軽度の方のご利用が増えると予測されます。ご利用者が「受け身」になってしまわない様に、「主体的」に活動が出来る事業所にします。

「気持ち」を持った介護サービスが提供できる様、「人」を大切にする職員の育成に努めます。

(2) 認知症対応型通所介護事業所 どんぐりの家 絆

認知症が重度化すると、「施設入所」という動きが顕著になってきた今、ご利用者の確保が難しくなると予測されます。

その様な中、「目の前のひとり」を大切にし、絆ならではの、絆にしか出来ない柔軟な対応を実践し、在宅での生活をサポートします。

(3) 訪問介護事業所

ご利用者の立場に立ち、住み慣れた家で一日でも長く、不安なく安心して在宅生活が出来るよう、寄り添いのサービスを行います。

ヘルパーの訪問を待って頂き、喜んで頂けるよう、サービス内容の統一、質の向上に努めます。

安全運転を心がけ、事故が起きないように細心の注意を払います。

(4) 居宅介護支援事業所

ご利用者の在宅生活継続を目指す上で、お住まいの地域との連携を大切にします。その為に、介護保険サービスや行政サービス等公的な資源だけでなく、

必要に応じて地域の自治会役員さん等近隣の方々も支援の輪に入って頂くことを重要視し、支援業務を行います。

ご利用者が、重度の介護が必要な状態になられても、在宅生活継続出来るよう、お元気な頃から支援の輪の連携を深めておくことを意識し、支援業務を行います。

引き続き、綾部市の生活サポート会議や地域包括等主催の事例検討会に出席し多くの事例から支援業務を学び、又、自身の支援事例に対し、意見を頂き支援業務に活かします。

(5) おこしやす

月曜日から金曜日を開所日として、すこやかシニア教室を実施します。ご利用者の健康維持を目指し、ノルディックウォークを推奨し、音楽に合わせた体操等運動メニューに力を入れています。土曜日や日曜日については、主に地域への還元日として、会議やカラオケ、里福祉をすすめる会様のわいわい集会に使用して頂きます。

(6) 配食サービス

市街地を中心に、綾部市内のご利用者にお弁当を配達します。前年度の課題であった配達員数について増員した為、配達件数を増やします。

対象は 65 歳以上の独居、高齢者世帯の方で、お身体の具合等が原因で調理負担がある方、又家族が昼間仕事等で、日中独りで過ごされている方です。